

病院名 神奈川県立がんセンター
都道府県名 神奈川県

神奈川県の情報

神奈川県内の総人口	9,246,624人（令和3年）
がん死亡者数（%）	24,792人（0.2681%、令和3年）
高齢化率	25.3 %（令和元年）

・ 県立がんセンターは都道府県がん診療連携拠点病院として、県内全体で質の高いがん医療を目指して医療機関間の連携強化を図るため、「神奈川県がん診療連携協議会」（以下、「県がん診療連携協議会」という。）を開催し、がん医療や相談、がん登録の充実強化、人材育成等について協議しています。

・ 県がん診療連携協議会は、県及びがん診療連携拠点病院等のほか、県医師会や県歯科医師会で構成されています。

・ 県立がんセンターは、平成25年11月に新病院を開院し、手術療法、放射線療法及び薬物療法の体制の充実強化を図って、高度で最新のがん医療をさらに進めるとともに、療養環境を改善するなど、患者にやさしく、質の高い医療の提供に取り組んでいます。

・ また、平成27年12月からは、重粒子線治療施設（i-ROCK）において、からだにやさしく生活の質を重視した最先端のがん治療である重粒子線治療を提供し、研究開発によって標準的治療の確立を目指しています。

・ がんの新たな診断・治療法の開発等の臨床研究を推進するとともに、漢方等の東洋医学の役割を明らかにするなど、安全で有効な治療法の選択を増やせるよう取り組んでいます。

神奈川県内のがん患者の状況(令和元年)

がん種 <small>(上皮内がん含む)</small>	罹患者数	罹患率 <small>(10万人対)</small>	75歳未満年齢調整死亡率(10万人対)
肺がん	8154人	88.6人	12.0人
大腸がん	14216人	154.6人	10.0人
胃がん	7730人	84.0人	6.2人
乳がん	8334人	179.3人 <small>(女性)</small>	11.3人 <small>(女性)</small>
膵癌	2898人	34.8人	6.6人
婦人科がん <small>(子宮、子宮頸部、卵巣)</small>	6541人	141.8人 <small>(女性)</small>	7.9人 <small>(女性)</small>
前立腺がん	7324人	159.7人 <small>(男性)</small>	2.6人 <small>(男性)²</small>

病院名 神奈川県立がんセンター
都道府県名 神奈川県

がん診療連携拠点病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院 1 施設 神奈川県立がんセンター 415床

小児がん拠点病院 1 施設 神奈川県立こども医療センター 430床

地域がん診療連携拠点病院 21 施設

横浜市立市民病院	650床	川崎市立井田病院	295床
横浜市大附属病院	674床	関東労災病院	610床
横浜労災病院	650床	川崎市立川崎病院	713床
横浜市北部病院	689床	相模原協同病院	400床
みなと赤十字病院	634床	北里大学病院	1,185床
横浜市東部病院	562床	横須賀共済病院	740床
市大附属市民総合医療センター	726床	湘南鎌倉総合病院	669床
昭和大学藤が丘病院	584床	藤沢市民病院	536床
聖マリアンナ病院	1,175床	東海大学医学部付属病院	804床
新百合ヶ丘総合病院	563床	大和市立病院	403床
		小田原市立病院	417床

病院名 神奈川県立がんセンター
都道府県名 神奈川県

がん診療病院の情報

がん診療連携指定病院 10施設

けいゆう病院	410床	茅ヶ崎市立病院	401床
横浜医療センター	510床	平塚共済病院	441床
横浜市南部病院	500床	平塚市民病院	416床
横浜南共済病院	565床	東名厚木病院	282床
相模原病院	458床	厚木市立病院	347床

病院名 神奈川県立がんセンター
都道府県名 神奈川県

都道府県におけるがん医療の特性

- ・ 神奈川県の、がんのり患者数は年々増加、令和元年には73,006人（男性：41,375人、女性：31,631人）が新たにがんと診断されている。
- ・ 神奈川県の死因の第一位はがんである。
- ・ 治療の自己完結率に地域差がある（●肺がんの自己完結率は、45 3.6（県西）～89.4%（湘南西部）と地域差があり、県平均では70.2%である。●胃がんの自己完結率は、56 4.3%（川崎北部）～92.4%（湘南西部）と地域差があり、県平均では75.9%である。●大腸がんの自己完結率は、53 5.7（川崎北部）～91.3%（湘南西部）と地域差があり、県平均では77.6%である。）
- ・ 化学療法（外来）の自己完結率は、52.9（県西）～89.1%（湘南西部）と地域差があり、県平均では66.1%である。
- ・ 横浜・川崎を中心にDPC病院は東部に多い。
- ・ 質の高いがん医療を目指して医療機関間の連携強化を図るため、都道府県がん診療連携拠点病院である「県立がんセンター」が事務局となり、「神奈川県がん診療連携協議会」を開催してがん医療や相談、がん登録の充実強化、人材育成等について協議をしている。
- ・ 構成員(都道府県がん診療連携拠点病院（県立がんセンター）、地域がん診療連携拠点病院（21病院）、神奈川県がん診療連携指定病院（10病院）、神奈川県医師会
神奈川県歯科医師会、神奈川県（健康医療局保健医療部がん・疾病対策課）
・ 部会(相談支援部会、緩和ケア部会、院内がん登録部会、がん薬物療法部会、PDCAサイクル推進部会)

病院名 神奈川県立がんセンター
都道府県名 神奈川県


都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

【現状】

・令和5年の神奈川県がん連携協議会薬物療法部会で「外来化学療法室の質の向上を支援するためのセルフケアチェックプログラム」を参考にアンケートが実施された。県内の医療圏の特徴や病院の規模により課題の特徴は異なる

【課題】


- ・irAE診療体制の整備
- ・がん薬物療法に関わる病診連携
(暴露対策や血管外漏出、IRなどのがん薬物療法に関わるマニュアルの整備)
- ・連携(病棟⇔外来、外来⇔在宅)



病院名 神奈川県立がんセンター
都道府県名 神奈川県

都道府県単位でがん医療の質向上に資する活動

- ・神奈川県の都道府県がん診療連携拠点病院を中心に、今年度の連携部会での課題をもとに、情報共有と相互評価を行い、各施設にフィードバックする




病院名 神奈川県立がんセンター
都道府県名 神奈川県

研修でうまく行えている点をあげてください

施設ごと、地域ごとに特徴があり、課題が異なっていた。
自施設の課題を事前に認識しておくことで、研修がより効果的に機能した。

上記が上手く行えるように工夫している点は何ですか

「外来化学療法室の質の向上を支援するためのセルフケアチェックプログラム」を参考にアンケートを実施した。




病院名 神奈川県立がんセンター
都道府県名 神奈川県

研修で困っている事をあげてください

PDCAサイクルを回せていない。

現在は、PDCAサイクル委員会を立ち上げているが、まだ成果は得られていない。



病院名 神奈川県立がんセンター
都道府県名 神奈川県

研修計画の評価

【研修デザインに関する評価】

連携部会では、各病院の特徴や地域の特性も考慮してグループを決定しGWを行い、課題や情報共有が行いやすいものとなったと思われる。

【研修結果に関する評価】

連携部会後に課題の抽出と情報共有は行えているが、フィードバックは行えていない。

次回の連携部会に向け、コロナ前に行っていたピアレビューを再開といった方法で、相互のフィードバックを行うかなど検討していく必要がある。



病院名 神奈川県立がんセンター
都道府県名 神奈川県

次回に向けた課題と方向性

【課題】

- ・irAE診療体制の整備
- ・がん薬物療法に関わる病診連携
＜連携(病棟⇔外来、外来⇔在宅)＞
- ・曝露対策や血管外漏出、IRなどのがん薬物療法に関わるマニュアルの整備

【方向性】

- ・できているところとできていないところで施設をわけ
- ・事前アンケートなどからプレゼンする施設を決める。
- ・irAE診療体制のチームビルディングできている施設は少なかった
⇒地域ごとに分けてGWを行う。
- ・曝露対策・血管外漏出、IR
⇒地域ごとじゃなくてもGWはOK
- ・ピアレビューをオンラインで行う(途中経過の確認?)

研修の概要

【タイトル】がん薬物療法に関わるマニュアルの整備
(血管外漏出、IR、曝露対策など)

【目的】

・がん診療連携拠点病院において、マニュアルが整備されることによって安全ながん薬物療法が提供できる

【対象者・人数】

・医師、薬剤師、看護師、コメディカル(MA,看護補助など・・)、医療安全管理者、

【目標】

一般目標(GIO)

・各施設でマニュアルの必要性(背景をふくめて)を理解できる

到達目標(SBO)

各施設でマニュアルを整備できる⇒現行のマニュアルも評価する

全ての拠点病院で、自施設の実情に合わせたマニュアルが整備できる

プログラム

開始	終了	時間	研修方法	内容
17:30	18:00	30分	講演	マニュアルが整備されている施設が(神奈川が ん、北里、横浜市大)講演を行う
18:00	18:30	30分	グループワーク	セッション1 GW(グループごと)
18:30	18:40	10分	レクチャー	全体で共有
18:40	19:10	30分	グループワーク	セッション2 GW(施設ごと)
19:10	19:20	10分	レクチャー	全体で共有
19:20	19:30	10分	レクチャー	次回までの課題と期限をを明確する



研修の評価

【実施評価】

- ・事後アンケート

【結果評価】

- ・オンラインで経過のピアレビュー
- ・マニュアルの内容も評価する

【企画評価】

- ・半年後の部会で報告・ピアレビューを必ず行う
- ・医療者以外にもマニュアルを整備することの重要性を理解してもらう

セッション1 共通のマニュアルについて検討

日時	○月 ○日(○) 18:00~18:30
場所	神奈川県立がんセンター 講堂
セッティング	施設をシャッフルし、多職種での検討
担当	斎藤
用意するもの	マイク/PC/プロジェクタースクリーン

【学習目標】

講演で学習したマニュアルをもとに、多職種で検討を行い、全施設が共通に使用できるマニュアルが作成できるか検討を行う。

【事前準備】 自施設のマニュアルについて確認

【会場準備】 業種別の席順をきめておく

【すすめ方】 グループ毎のファシリテーターを決めて、ディスカッションの活性化を図る

【セッションでの留意点】

セッション2 自施設の実情に合わせた マニュアル整備について

日時	○月 ○日(○) 18:40~19:10
場所	神奈川県立がんセンター 講堂
セッティング	各施設ごとの具体的な検討
担当	末竹
用意するもの	マイク/PC/プロジェクター/スクリーン

【学習目標】

施設ごとに、自施設の実状に合わせたマニュアル整備について具体的に検討する

【事前準備】 自施設のマニュアルについて確認

【会場準備】 席順をきめておく

【すすめ方】 グループ毎のファシリテーターを決めて、ディスカッションの活性化を図る

【セッションでの留意点】